MAH-637C　LM42　2013年2月1日発行
MAH637C

LIXIL TOSTEM

アルミと樹脂の複合サッシ
フォンテプラスⅡ

開き窓・テラスドア・勝手口ドア　取付け説明書

※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

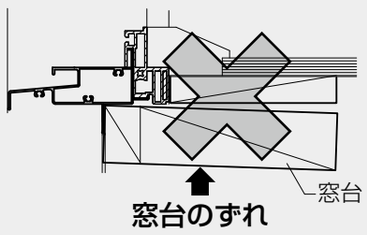
■施工される方へのお願い

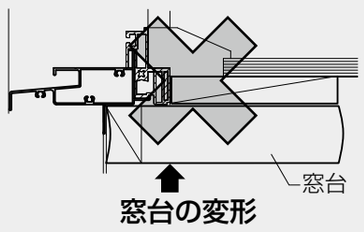
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

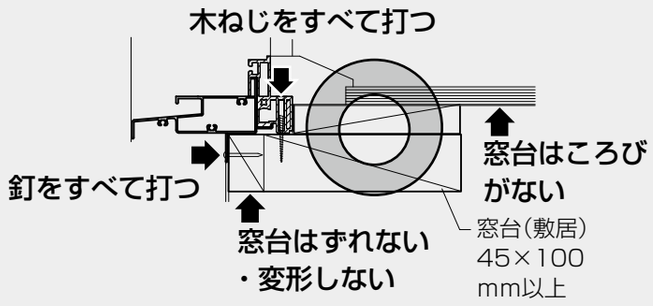
⚠注 意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注　意

●本製品は複層ガラス使用のため、組立て後の製品重量は最大110kgになります。施工は対応する人数で行なってください。
●下記事項をお守りください。
・サッシ下枠の垂れ下がりによる気密・水密・断熱性能の低下や、風のあおりなどによる枠や外壁材の損傷・漏水・ドアの開閉不良・本体落下の原因となるおそれがあります。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがあります。





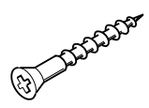


・吊元側(丁番側)の枠は、くだ柱に取り付けてください。やむを得ず間柱に取り付ける場合は、間柱とくだ柱との間に補強材として造作用合板、又は胴縁(30×90)を入れてください。

■施工上のお願い

●必ず指定のスクリュー釘・木ねじで枠を固定してください。
●縦枠は必ず垂直に取り付けてください。
●本体は枠を躯体に固定した後、吊込んでください。
●横引き収納網戸を取り付ける場合は、額縁を枠端部から必ず20mm以内に納めてください。横引き収納網戸が取り付けられなくなります。
(■参考納まり図／横断面図参照)
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管、輸送の際は保護してください。
●本製品は複層ガラスを使用するため、かなりの重量がかかります。下枠が垂れ下がらないように開口部を補強してください。サッシ下枠の垂れ下がりにより気密・水密性能を損なうおそれがあります。
●ロール網戸を取り付ける場合は、額縁を枠端部から25mm以内に納めてください。25mmより内側になるとロール網戸が取り付けられなくなります。

■ねじ一覧表

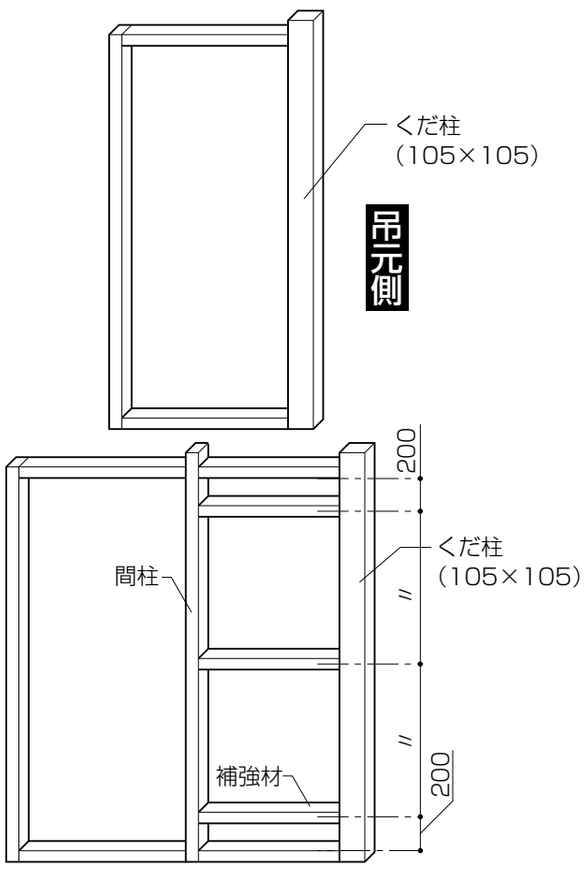
記号	姿図
Ⓐ	スクリュー釘φ2.1×25
Ⓑ	 皿木ねじφ3.8×45
Ⓒ	ナベ小ねじM4×12

■取付け順序

1躯体の確認と補強

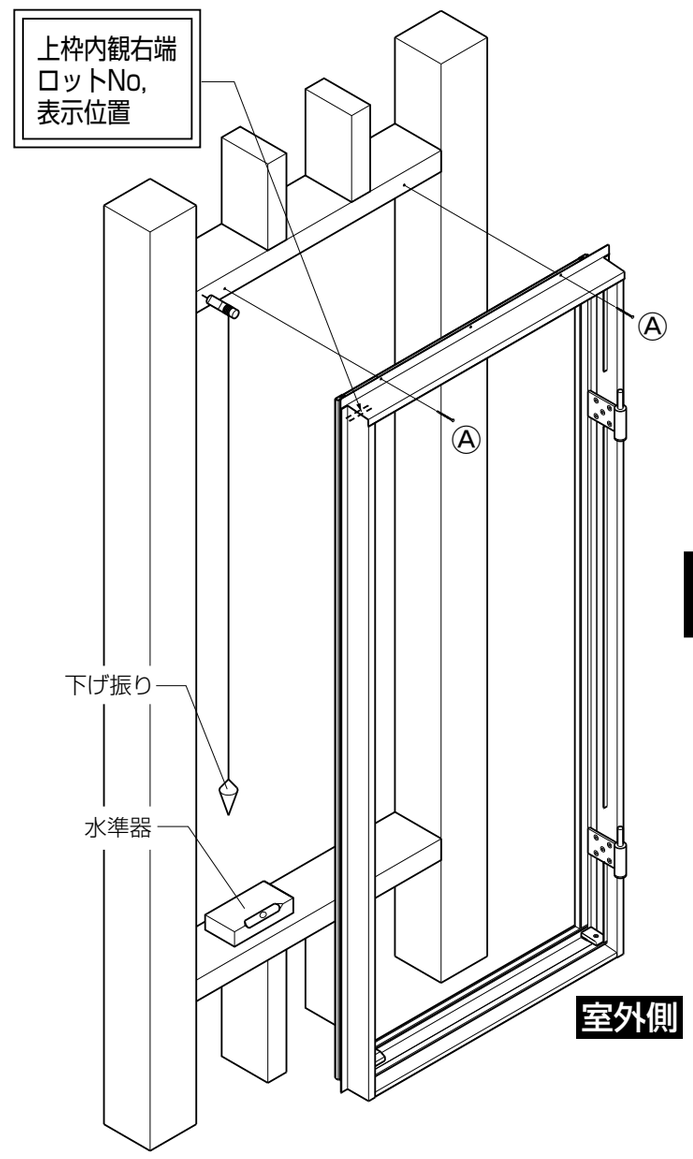
⚠ 注　意

●吊元側(丁番側)の枠は、くだ柱に取り付けてください。やむを得ず間柱に取り付ける場合は、間柱とくだ柱との間に補強材として造作用合板、又は胴縁(30×90)を入れてください。



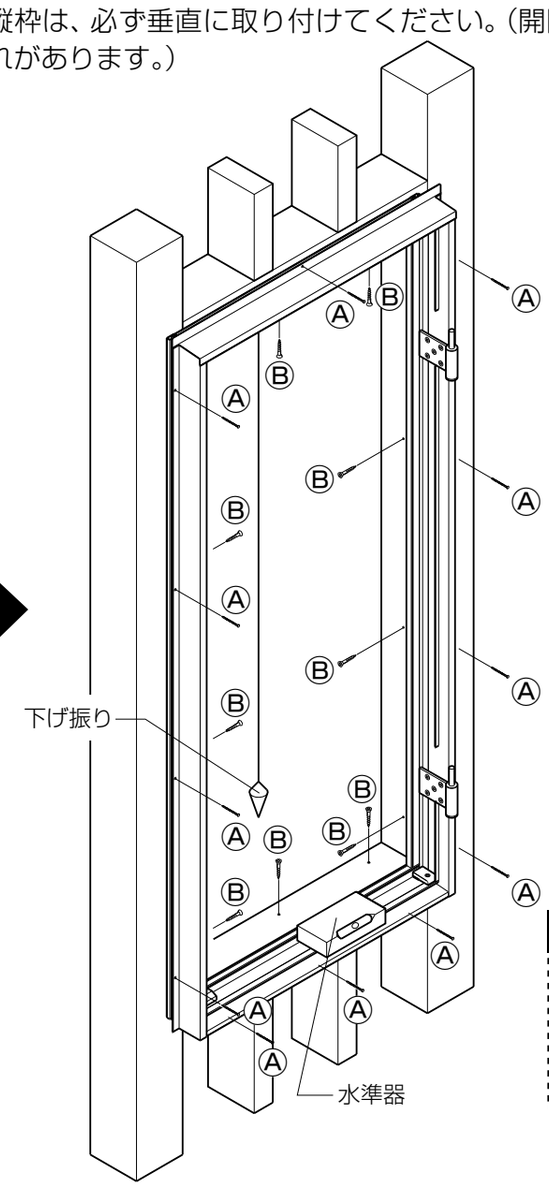
2枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



3枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。
※縦枠は、必ず垂直に取り付けてください。(開閉障害・すき間が生じるおそれがあります。)

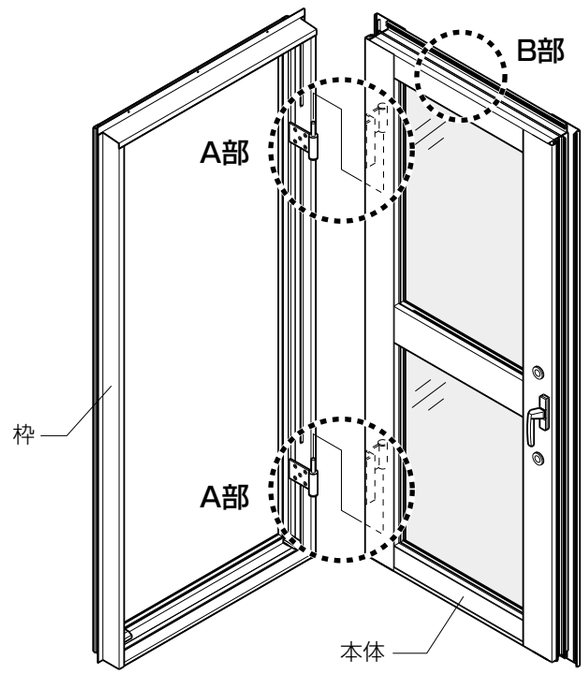


⚠ 注　意

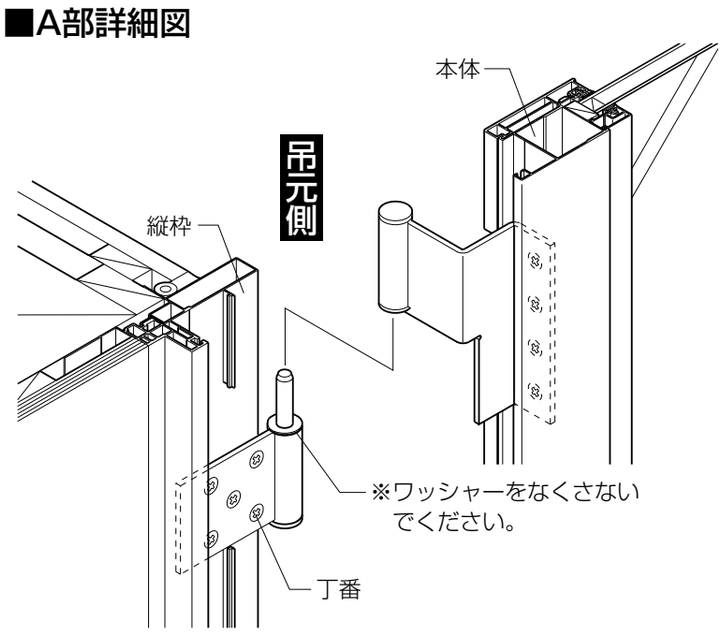
●枠の水平・垂直は正確に出して取り付けてください。

4 本体の吊込み

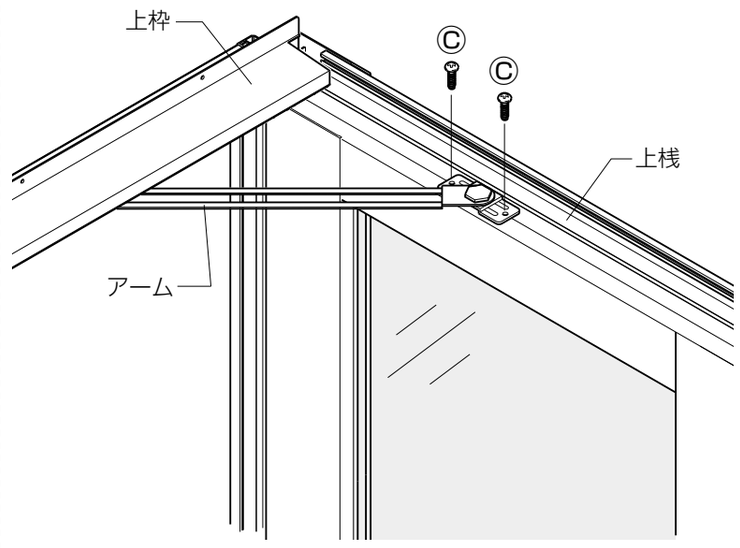
●丁番をかみ合わせ、上桟に、アーム金具を固定します。



■A部詳細図



■B部詳細図

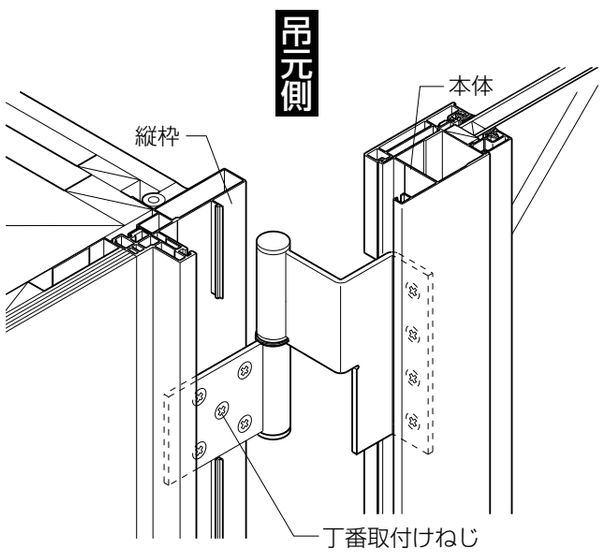


■建付け調整・・・ここで説明する建付け調整は、枠を取り付けた後で調整が必要になった場合の補助的なものです。

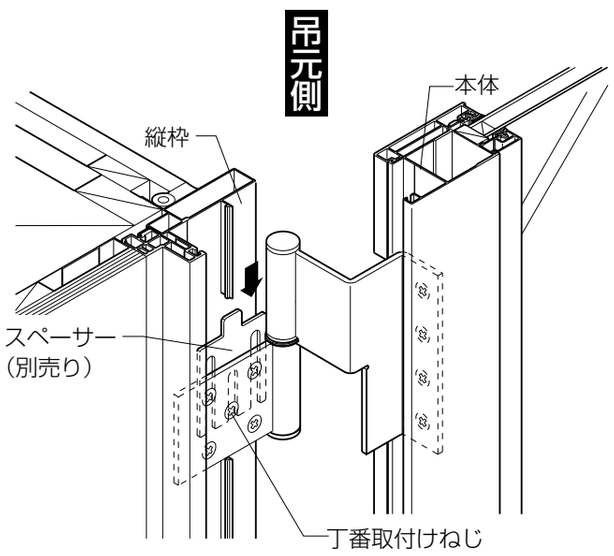
■左右方向の調整

※開き窓・テラスドアは中桟がつきません。

①丁番取付けねじ(5本)を緩めます。



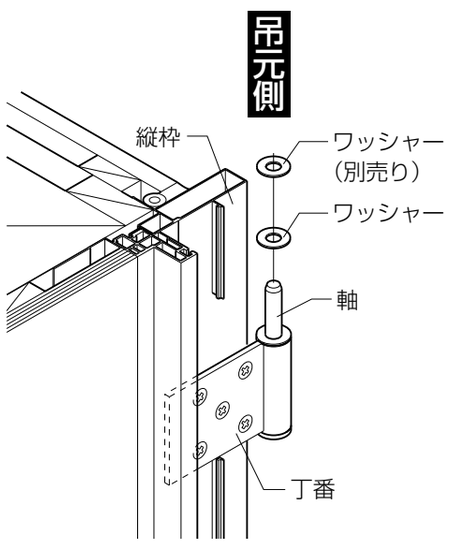
②スペーサを挿入します。
③丁番取付けねじを締め付けます。
※スペーサを追加すると、1mm戸先側へ寄ります。

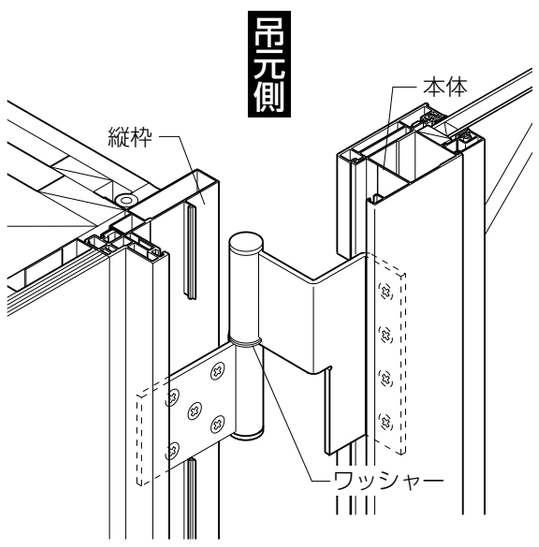


■上方向の調整

※開き窓・テラスドアは中桟がつきません。

①本体を枠から外し、丁番の軸にワッシャー(別売り)を入れます。
※1枚入れると1mm、2枚入れると2mm本体が上がります。
※ワッシャーはあらかじめ丁番に1枚取り付けてあります。

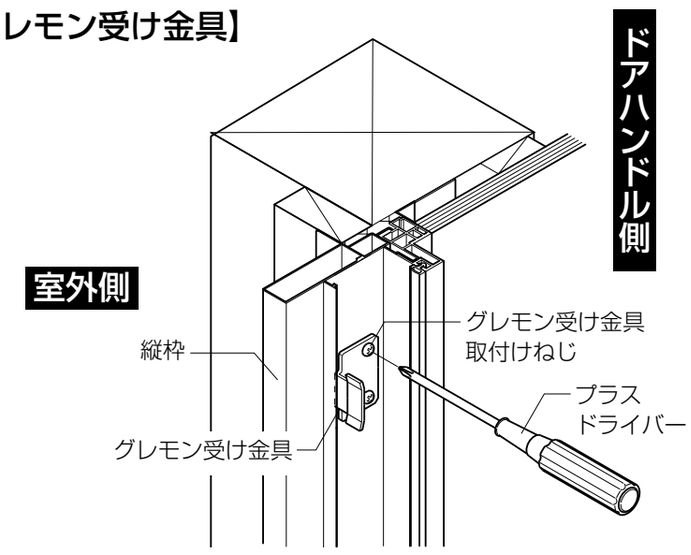




■グレモン受け金具の調整

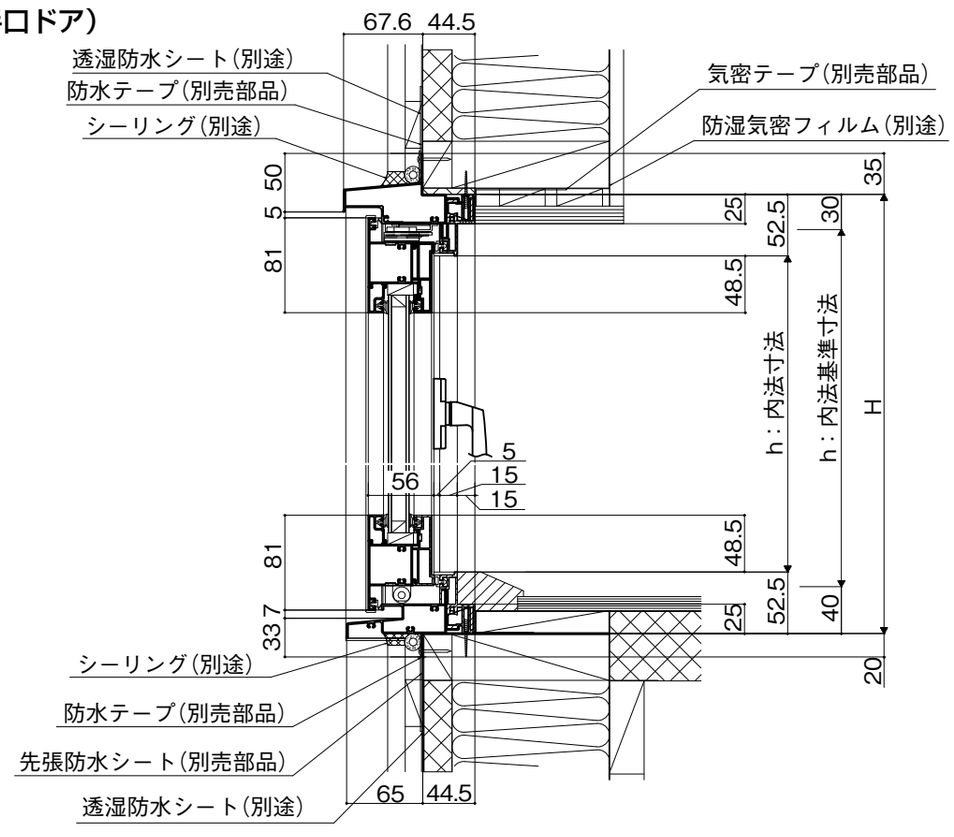
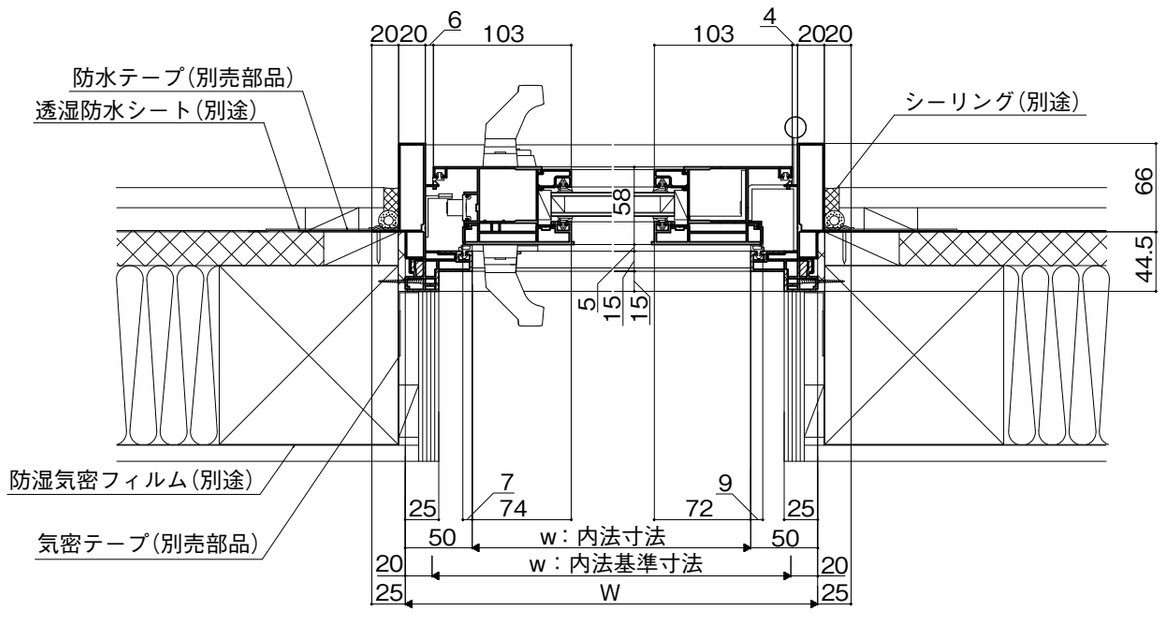
●グレモンの掛かりがきつい場合は、グレモン受け金具取付けねじをゆるめて位置を調整します。

【グレモン受け金具】



■参考納まり図

●縦断面図
(勝手口ドア)



●横断面図
(勝手口ドア)